

森林科学

教 科	農 業	単 位 数	2 単 位	学 科 ・ 学 年	森林科学科・1年
使用教科書	森林科学（実教出版）				
副教材など	プリント・作成資料				

科目の概要、到達目標

○農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、森林の構造や機能並びに保全技術などを科学的に捉えるために必要な資質・能力を身に付けます。

年間の学習計画

期	月	学 習 内 容	学習のねらい
前	4	○森林の特性 ・森林の定義とタイプ分け	○森林の定義と、様々な視点から分類される森林の特性を理解する。
	5	○安全な山歩き・作業 ・山歩き・林内作業を安全に行う方法	○林内で活動や作業を安全に行うための知識を身に付けて危険予測能力を養成し、実際に活動できる。 ○金華山の植生について理解を深める。
	6 7	○樹木の特性 ・樹木の植物分類上の位置 ・樹木の形態 ・図鑑を用いた樹木の同定 ・日本の主要な樹木、	○樹木の形態的特性を理解し、図鑑を用いて主要な樹木を同定することができる。
期	8 9	○森林生態系の構造 ・生態系の概念と構成要素 ・物質循環とエネルギーの流れ ・構成要素間の相互関係 ・森林の機能と生態系サービス	○森林生態系の概念と構造、構成要素を理解し、あらゆる生物が関わる生態系内の物質とエネルギーの動きを理解する。 ○一次遷移と二次遷移が理解できる。
	後	10 11	○遷移の発達段階・樹種構成に応じた森林管理が必要であることが分かる。
期		12	○生産林の施業技術 ・木材生産林の施業の流れ ・生産された木材利用の流れ
	1 2 3	○林木の立地環境 ・世界におけるバイオームの分布と気候要素との関係 ・日本におけるバイオームの分布	○世界や日本におけるバイオームの分布と、それを決定づける気候要素との関係を理解する。

観点別評価

○観点別評価 a 知識・技能（技術）
b 思考・判断・表現
c 主体的に学習に取り組む態度

○観点別評価の方法 定期考査、授業での行動観察、提出物（課題プリント・授業ノート）、振り返りシート、パフォーマンステスト、発表などによって、ABCの3段階で評価します。

○観点別評価を均等に総括して評定（5段階）を決めます。

定期考査の範囲、課題

前	中間考査範囲	
	期末考査範囲	
期	夏休みの課題	
後	中間考査範囲	
	学年末考査範囲	
期	冬休みの課題	